2019年7月12日（金）毎日新聞社 朝刊26面　※無断転載不可

eスポで地域と連携

大阪電通大 駅前にスタジオ

大阪電気通信大は、学生が主体となってeスポーツの研究に取り組めるよう、駅前キャンパス（寝屋川市早子町）に7月から、ゲーム用パソコンなどの機材をそろえたeスポーツ専用スタジオを開設した。地域と連携したイベント運営や情報発信を目指す。

同大はデジタル分野で活躍できる人材の育成を目指し、ゲームの企画や開発を学ぶデジタルゲーム学科と、ゲームを社会に発信する手法を学ぶゲーム&メディア学科を設置している。eスポーツへの関心が高まっていることを受け、全学を対象に昨秋、学生組織「eスポーツプロジェクト」を発足させた。現在では約100人が所属。常時活動できる拠点としてスタジオを作った。一通りのジャンルのeスポーツに対応できるよう、ゲーム用パソコン、家庭用ゲーム機、車の運転体験をできる専用シート、配信用カメラを備える。機材の選定や業者との交渉はプロジェクトの学生が担った。

駅前キャンパスには100人を収容できるホールもあり、イベントの開催から配信までトータルに対応できる環境が整った。eスポーツ運営会社を起業して代表を務めるデジタルゲーム学科4年の山口勇さん(22)は「拠点ができ、学生の活発な活動につながる」と喜び、ゲーム&メディア学科の山しぜきひでゆき教授(56)は「地域との連携を軸に、教育機関ならではeスポーツの取り組みを展開したい」と話している。【石村綾子】

学生主体に発信

ゲーム用パソコンや配信用カメラなどを備えたeスポーツ専用スタジオ
＝寝屋川市早子町の大阪電通大駅前キャンパスで